



- ママサポ・プロジェクトに（株）タニタヘルスリンクが新たに賛同
- 父の日はマイナー？ オトコを上げるにはイクメンが必須！

ママサポ・プロジェクトからのお知らせ「ママサポ通信」、今月お届けするニュースは2つです。

ママサポ・プロジェクトに（株）タニタヘルスリンクが新たに賛同

現在、ママサポ・プロジェクトには、アプリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社、イオンリテール株式会社、東京ガス株式会社、日清食品株式会社、株式会社ワーク・ライフバランス、戸田公園プロジェクトの賛同と埼玉県の協力をいただいておりますが、この度あらたに、株式会社タニタヘルスリンクに賛同企業として参画をいただきました。

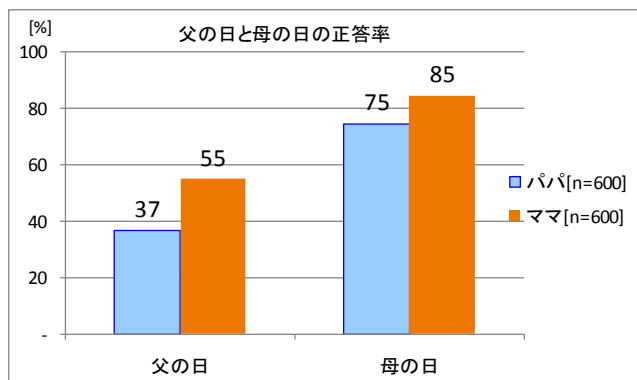
タニタヘルスリンクは測定機器製造のタニタから生まれた会社。タニタが1959年に測定機器の製造を始めて以来、たくさんのお客様から、「はかった後、どうすればいいんですか？」といった質問をされる事が増えてきたため、その”アンサー”を追求し、タニタヘルスリンクが生まれました。健康管理が特に必要な忙しいママ、パパほど、健康管理に時間を割けてないという現状が考えられます。同社は楽しく、正しく、簡単に、健康管理ができるセルフコンディショニングの仕組み、ツール、サービスをご提供します。健康データを活用することで、人の生き方や暮らしに寄り添いながら、多角的に活用することが可能になります。生涯にわたる快適なライフスタイルの実現を目指し、データに基づいた、最適な健康管理方法をご提案します。

また、同社は時短勤務、在宅勤務を認めるなど、従業員に対して多様な働き方を可能にしています。同社健康支援サービス事業部の部長で管理栄養士・健康運動指導士の資格もお持ちの宇野氏によると「育児をしながら勤務するスタッフも多く、フレキシブルな勤務体系の中で、お客様の健康サポートを実施しています。ママと同じ目線でのサービス構築、サービス提供をする専門家集団がママの健康的な生活をサポートします。」とのこと。

父の日はマイナー？ オトコを上げるにはイクメンが必須！（調査結果より）

ママサポ・プロジェクトでは、6月第3日曜（今年は6月20日）の父の日を前に、未就学児の父親（パパ）および母親（ママ）を対象に、「パパ」および「父の日」にまつわる意識調査を実施しました。

調査結果によると、「父の日は6月の第3日曜である」と正しく回答した人は、「母の日は5月の第2日曜である」と回答した人に比べて少なく、父の日は母の日に比べてマイナーな存在であることが



が分かりました。母の日の正答率はパパ・ママともに高く、75%・85%となっておりますが、父の日の正答率は、同37%・55%と、特に当事者であるパパで低いのです。

なお、父の日の不正解の中で一番多かった回答は、男女とも「6月第2日曜」で、「母の日の一ヶ月後」と勘違いしている人が多いことが分かりました。

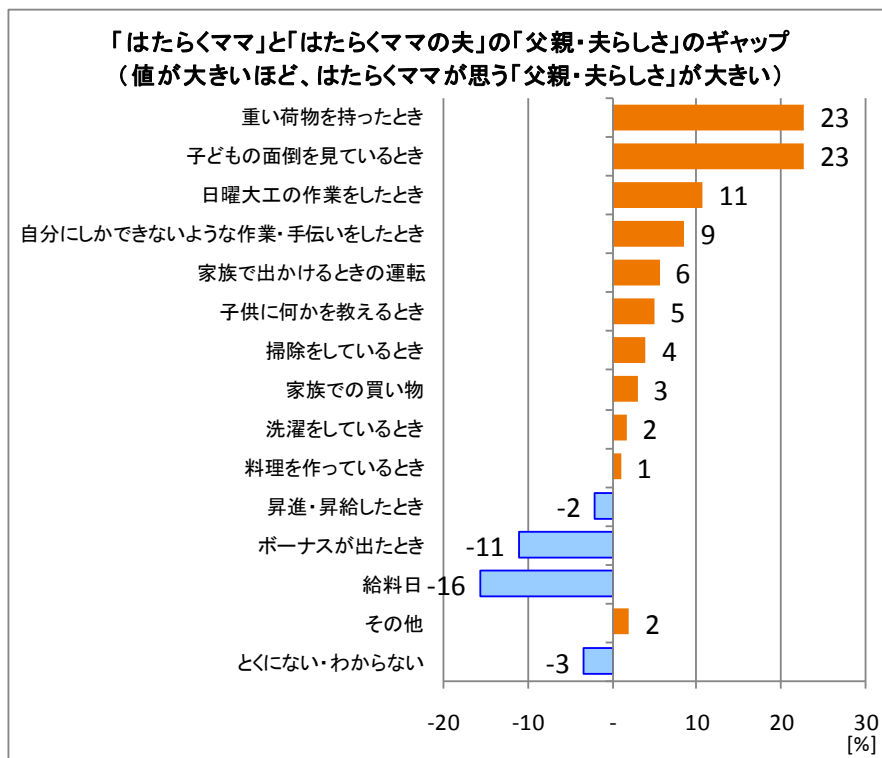
また父の日のプレゼントについて調べたと

ママサポ通信 [Vol. 2; 2010年6月号]

ころ、「パパが欲しいもの」と「ママが贈りたいもの」には大きなギャップは見られず、「仕事の中で身につけるもの」や「お酒」「趣味のもの」が上位にランクインしています。また「夫婦や家族での外食」も男女とも上位に挙がっており、モノかコトかに関わらず、**父の日のプレゼントについてはあまり悩まなくてもよい**と言えそうです。ただ、パパの回答の1位は「感謝の言葉」となっていますが、残念ながら「感謝の言葉を贈りたい」と回答したママは12%と少なくなっています。

	パパが父の日に妻や子どもから欲しいもの	%	ママが父の日に夫に贈りたいもの	%
1位	モノではなく「感謝の言葉」	27	ネクタイやワイシャツなど、仕事の中で身につけるもの	29
2位	ネクタイやワイシャツなど、仕事の中で身につけるもの	23	お酒	29
3位	夫婦や家族での外食	21	洋服	26
4位	お酒	18	夫婦や家族での外食	18
5位	趣味のもの(スポーツ、音楽など)	17	趣味のもの(スポーツ、音楽など)	14

では、日ごろパパは「父親らしい」ことはできているでしょうか？図の通り、パパとママがそれぞれ思う「父親・夫らしさ」にはギャップがあり、**「重い荷物を持ったとき」や「子どもの面倒を見ているとき」には、パパが自覚している以上に、はたらくママは夫のことを評価**しています。重い荷物



はそんなにいつもあるわけではありませんが、子どもの面倒ならすぐに見られますね。逆に、「ボーナスが出たとき」や「給料日」は、はたらくママにとってはあまり重要ではないようです。

パパのみなさん、イクメンで「父親らしさ」「夫らしさ」をアピールして、父の日にたっぷり「感謝の言葉」をゲットしましょう！

【調査概要】

対 象 はたらくママ（フルタイムで仕事をしているママ）、はたらくママの夫、専業主ママ（仕事をしていないママ）、専業主ママの夫、各 300 名ずつ ※以上、ただし長子が未就学児
 実 施 2010年5月 調査方法 インターネット調査